

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	幼稚園等園児保護者負担軽減事業					
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係	課長名	関田 孝志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実		総合計画書 (ページ)	31	

予算名	款	10	教育費	項	6	幼稚園費	目	1	教育振興費	事業	1	私立幼稚園保護者に対する補助事業費
-----	---	----	-----	---	---	------	---	---	-------	----	---	-------------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	私立幼稚園に幼児を通園させている、所得基準に該当する保護者。	→ 幼稚園の入園児童数。
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	保護者が幼稚園に支払う入園料や保育料の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。	→ 幼稚園への保育料等の負担が軽減されることで、幼稚園教育を受けることができた児童の保護者数。
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	幼稚園教育の振興と充実を図るため、幼稚園に通園させている保護者に対し家庭の所得に応じて補助金を交付した。	→ 幼稚園への保育料等の負担が軽減されることで、幼稚園教育を受けることができた児童の保護者数。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	1,027	1,001	962	
	成果指標	②の数値	人	1,027	1,001	962	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	補助金の交付により、保育施設の利用者負担との均衡を図り、安心して幼稚園教育を受けさせる				
	活動指標	③の数値	人	1,087	1,027	1,001	

3 経費	事業費(実績)		円	80,103,600	77,495,600	75,827,500	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	40,375,600	39,357,600	38,242,000	
		特定財源	円	39,728,000	38,138,000	37,585,500	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
		所要人数(再任用)	人	0	0	0	
	職員人件費(再任用以外)	円	4,133,500	4,126,500	4,122,000		
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	84,237,100	81,622,100	79,949,500		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	保護者が幼稚園に支払う保育料等の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。毎年度、単年度要綱である「東大和市私立幼稚園等園児保護者負担軽減事業費補助金交付要綱」を制定し、事業を実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	平成28年度からひとり親世帯や障害をお持ちの方がいらっしゃる世帯などを対象として、優遇措置が新設された。

仕 事 の 内 容	幼稚園等園児保護者負担軽減事業			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	意見については特になし。		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容		
	算定方法が複雑になり、当補助事業に係る事務時間の短縮が課題である。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
PC中のフォルダにを、実際の業務の手順になるように名前を付けて保管し、担当交代等があった場合でもスケジュールを追いかけやすいようにした。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
業務の要所要所で確認すべき事項をまとめたチェックシートなどの整備も必要である。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	チェックシート化したマニュアルを作成する。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	チェックシート化したマニュアルを作成する。			
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を維持する。		経費	仕事の経費は維持する。